

2 地域における普及活動実績

環境と経営の見直しによる地域振興作物の安定生産 ～土を育て 人を育て すすめる新ひだか町の農業～

◆活動年次：令和3年～令和7年度

(課題番号1)

◆対象：新ひだか町静内東別3農事組合地区(12戸)

1 活動の背景

- (1)活動地域では、地域振興作物の園芸作物(ミニトマト、花きなど)、肉牛(和牛)の生産を行っており、耕種経営ではミニトマト生産が盛んである。
- (2)新規参入者、若手経営者、後継者は園芸作物を中心に経営している。
- (3)昨年までの活動で育苗管理改善の必要性和土壤物理性改善への意識が高まっている。
- (4)地域の担い手からは所得率向上に向けて、経営状態をより把握したいとの声も多い。

2 活動の経過

○環境改善による作物の安定生産

【透排水性改善実施】



【栽培環境の改善】

育苗管理チェックシートでミニトマト促成栽培の改善効果検証



ミニトマト育苗巡回

【育苗管理のチェックシート】
[本表を育苗中に育苗の仕方の確認]として、育苗・定植時に記入する育苗管理記録表です！
育苗管理のチェックシート
育苗管理のチェックシート
育苗管理のチェックシート
育苗管理のチェックシート

農業者: 促成栽培だと育苗から加温が必要だけど、燃油代も高いし、みんなどうしてるんだ？

農業者: いままでやってなかったけど、育苗管理の情報共有ができればお互いにいいかもね。

普及指導員: みなさんちょっとした工夫をしています。やれることから始めてみましょう！

○担い手の経営管理能力の向上

関係機関との経営分析手法の情報共有



経営全体から見る「所得解析ツール」活用の提案

【R3年の課題】「促成での育苗コスト分析」を提案

3 成果の具体的内容

○環境改善による作物の安定生産

【透排水性改善実施】

農業者が緑肥の導入、安価で取り組みやすい排水対策や雨水流入防止策を実践

①



後作ミニトマトの良好な生育と根張りを確認

緑肥の土壌物理性改善効果の理解が深まった

越冬緑肥導入→6戸

②



農業者自ら実施して排水が改善

透排水性改善の重要性が理解され、安価のできる地域内の技術共有がすすんだ

排水対策実施→4戸

さらにR5年排水対策実施を1戸が検討中

③

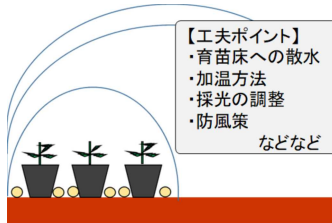


1戸が矢板を設置

新規就農予定の研修生にも教えるよ

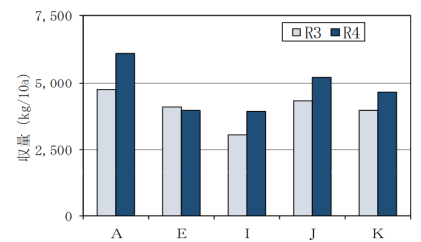
【栽培環境の改善】

基本技術の工夫を情報共有・栽培管理実践



育苗管理での新たな気づき

初期生育の安定と草勢の維持



2カ年の促成作型収量比較

4戸が昨年より収量増

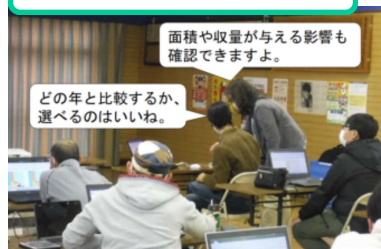
○担い手の経営管理能力の向上

①

関係機関と連携、情報共有し、効果的な経営指導で合意

②

農業者と経営分析を実践

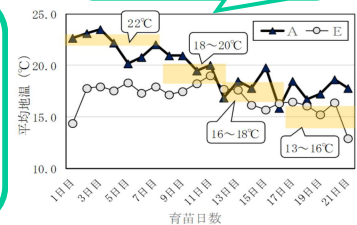


対象の7戸が実践

③

コストや作業性を加味した育苗管理改善の理解が進んだ

育苗初期の地温確保が販売金額差に大きく影響



育苗期間中の平均地温推移 (網掛け部分：適正值)

4 今後の対応

- 環境改善による作物の安定生産
緑肥を活用した施肥改善と透排水性改善対策の効果を確認する。
- 担い手の経営管理能力の向上
所得解析ツールの活用により課題や改善策を共有し、取組への支援を行う。